

組織態勢確立など方針を全会一致で承認 ～2021.2.20. 第17回中央委員会

林野労組九州

発行所
熊本市西区京町本丁2の7
全国林野関連労働組合
九州地方本部
電話 096-354-1150

発行者 山口隆志
責任者 10日
発行日 1部20円
定価 組合員の購読料は
組合費の中に含む

緑を育て、守る、 林野労組

組織・定員、空席ポスト問題 樹木採取権など議論

2月20日、第17回中央委員会が開催されました。今中央委員会も、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、Web会議開催となり、九州地本からは中央委員として、加藤地本書記長と古村地本副委員長が出席しました。



Web会議に出席する加藤委員と古村委員

委員会は、鳴川中央本部副委員長の開会が始まり、冒頭、篠原中央本部執行委員長は、1. コロナ対策
各職場・地域でコロナ対策を取り組んで戴いていることに感謝申し上げる、累計感染者数は延べ42万人、その内回復者は36万人、亡くなられた方も

7300人となつていて、国有林でも感染者が多くなつて来ており、いつ誰が何処で感染してもおかしくない状況である。組合員相互の生命と健康を守るため、引き続きの対策をお願いする。

2. 政治状況
第204通常国会が6月16日までの150日間の日程で1月18日に召集された、過去最大となる106・6兆円になる予算成立が主な内容となるが、この内44兆円は国債発行で賄っており、引き続き次世代に対して負担を担わせる内容となつていて、格差問題について拡大している感が強くなつていて、立憲民主党をはじめとする野党は、この間、菅政権で発生した諸問題で国民の信頼を失った政治・国会

九州地本
中央委員発言要旨

1. 昨年10月に設置された若北地区特定民有林直轄治山対策室における配置ポストについては、3Gの予定であったが実際は違ったこの事について本部見解を求める。

2. 毎年の様に発生する自然災害が発生する中、総括治山技術官が配置されていない署があり、治山技術官の負担が増している状況。本部段階でポスト要求するよう求める。

3. 支署における次長ポストについても、同様に中央段階でポスト要求するよう求める。

3. 格差拡大と2021春闘
コロナの影響もあり、社会全体が景気が落ち込み消費も伸びず冷え込んだこの社会状況の中、今こそ労働組合の役割・使命を果たす時だと思つている。解雇・雇止めは80万人を超えている報道もある、完全失業者は195万人を超えている状況で

4. 非常勤予算の拡充について、本部機能を発揮し、当局交渉に取り組みよう求める。

4. 再任用職員について、今後増加する予定であるが、住居手当が支給対象外であることから、手当支給になるよう本部交渉を強く求める。

5. 組織態勢強化月間と位置づけ、組織化対策に取り組むのか。

5. 再任用職員について、今後増加する予定であるが、住居手当が支給対象外であることから、手当支給になるよう本部交渉を強く求める。

6. 樹木採取権について、木材需要の動向等を見極めつつ慎重に対応するとされたことから、当初のスケジュールから大幅に遅れ、全局ともに動き出していない状況。しかし、政策としてのもの

6. 樹木採取権について、木材需要の動向等を見極めつつ慎重に対応するとされたことから、当初のスケジュールから大幅に遅れ、全局ともに動き出していない状況。しかし、政策としてのもの

「感謝と敬意」を表し、国有林人生を称賛したい▼東日本大震災から10年が経過。4月には熊本地震も5年を経過する。春は忘れっぽい私たちに過去の教訓を伝え、現実と向き合う姿勢を正してくれる季節でもある。

また、今後、各局に対して第2段・3段の樹木採取権の動きがあるのか否か、情報があれば聞きたい。現場としてもこれ以上に新たな業務負担増が発生することは持たない状況である。本部見解を求める。

3月3日 地本執行委員会
5日 第15回地本委員会
9日 共済組合運営委員会
10日 人事院交渉(福岡市)
(国八連合九州)

総括及び2021年度春季生活闘争方針(案)、2020年度中間決算報告、会計監査報告などの提起がありました。

その後、提案された各議案について満場一致で採択し、委員会スローガン、委員会宣言についても同じく採択。

最後に、篠原中央本部執行委員長の意思統一の言葉があり、全日程を終了しました。

匠の腕

『アジア・アフリカ支援米における田植え』

(撮影者 松永雄治：局分会)



「匠の一言」
田植えや泥遊びを楽しみました。



枝先のつぼみが膨らみ始めたと思つたら、アツという間に純白の花が全開となるハクモクレンは、まさに春を感じさせ樹木のひとつだ。上向きつぼみは南側から日差しが当たるため南側の成長が早く、先端がみんな北向きにかしこ。モクレン科のコブシなども同じ。早春の山中で方向を知る手掛かりになることから「磁石の木」の別名も▼3月になった、まもなく桜の咲く頃を迎える。卒業、入学、異動など節目で、人の動きも活発になる▼今月末で、時代を築き、年輪を刻み、ひとつの道を進み、職場を「卒業」していく仲間の皆さんがいる。

「感謝と敬意」を表し、国有林人生を称賛したい▼東日本大震災から10年が経過。4月には熊本地震も5年を経過する。春は忘れっぽい私たちに過去の教訓を伝え、現実と向き合う姿勢を正してくれる季節でもある。

